

津房小学校の教育支援活動

① もち米づくり <<地球未来科>>

津房小学校の食育支援事業として、ことしも校地前の水田で「もち米」栽培をすることにし、7月3日、4～6年生児童による田植え作業で事業をスタートしました。

1日先生役の当協議会の菅原会長の指導のもと、昔ながらの“田植えひも”を使った方法で50メートル、15列を手植えました。手慣れた子、やんちゃな子、泥田に入ることさえ怖がる子などが入り混じっての作業で、支える担任の先生方も声を漣らしながら大変そうでした。晩秋の稲刈り体験、収穫米を使っの餅つきイベントへ続きます。



一日先生へお礼のことば



横一列になつての手植え

② (安心院町内) 4小学校の6年生交流会

町内4小学校の6年生は来春より安心院中学校で同一クラスとなりますが、各校児童が事前に“顔なじみ”になり、合流がスムーズに運ばると、7月30日に有志児童を対象にした交流会を開催しました。(4地区のまちづくり協議会の共同事業)

津房小からのことしの参加は1名のみでちょっと寂しかったですが、計13人の児童が参加、地域交流センター(旧深見中学校)体育館での体操とゲームを兼ねたレクリエーションに始まり、釜ノ口湧水でのソーメン流して昼食、午後はマイクロバスで佐田京石・佐田神社のツアー、佐田川での川遊び、仕上げは地域交流センターに戻つてのバーベキューと続き、親睦を深めました。



釜の口湧水でのソーメン流し

③ 高学年生とソフトボール対抗戦

熟年世代の子ども時代、男子の殆どは「野球少年」でしたが、児童数の減少とスポーツの多様化の影響か、津房小児童がソフトボール・野球をする機会を無くした中、学校の先生方の推奨もあって児童諸君からソフトボールの試合申し込みがありました。

それを受け、多少とも学校に縁あるオイサン方に声掛け、チーム「オッサンズ」を急遽編成して応戦しましたが、何せ何十年も運動したことのないオイサンたちゆえ、結果は児童諸君の勝ち、「ムカシの野球少年」の面目丸つぶれながら、楽しい交流ができました。

次回、秋の青空のもとではリベンジするぞッ!!



小規模集落等応援事業<<1回目>>実施しました

前号(6月発行)で出役者を募つた小規模集落・団体への応援事業ですが、いずれも期待に沿う人数の方々の応募を得て、予定どおり行うことが出来ました。地区の皆さんにご報告するとともに、真夏の炎天下にも関わらず出役頂いた各位へ本稿にて厚く御礼申し上げます。☆☆☆☆☆☆☆☆

【津房戦没者慰霊共同墓地】

7月13日7:00～敷地の草刈りと墓標周りの清掃に、9人の出役応募者と遺族会の方5人、合わせて14人で当り、きれいに仕上げる事が出来ました。地区出身の戦没者を祀る当施設にふさわしい維持管理は遺族のみならず、地区に課せられた務めと捉え、今後も継続的に取り組む事業とします。



【大内集落のアクセス&生活道路】

7月27日8:00～3系統、総延長3.5kmの道路両側の草刈り作業は、出役応募者14人と地元の4人、合わせて18人で3時間あまり掛けて行いました。



【萱籠集落のアクセス&生活道路】

8月4日8:00～3系統、総延長4.2kmの道路両側の草刈り、支障枝の除去作業は、出役応募者17人と地元21人、合わせて38人で3時間あまり掛けて行いました。



(萱籠区長さんが近隣市町村に出ている集落出身者にも呼びかけ、21人も召集いただきました)

支援を受けた遺族会会長、両区長さんからは作業終了後に出役者へお礼の言葉をいただき、応募各位とも清々しい気持ちで、また、これまで自力で対応してきた3団体のご苦勞を体感し、感嘆しながら家路につかれた筈です。今回の応募者には次代を担う30、40代の若者も現れ、塾年者はたいへん心強く感じました。

なお、10月には2回目の事業を行う予定で、次号の協議会だよりで出役者を募りますので奮ってご参加下さるようお願いいたします。

◎ 当事業は津房地域農地・水環境保全管理協定の支援を受けています

ご寄付のお知らせ

羽良盛さん(横浜市在住)より
ご母堂 羽良フタ子様(板場集落・享年七十七歳)のご逝去に際しての香典返し
の儀としてご寄付を頂戴致しました。
当協議会の活動費として活用させていただきます。
ご意向にお応えして参ります。

津房ふれあい大運動会

去年に較べてことしは開催時期が遅くなります!

10月12日(土)

開会 8:30

津房っ子の応援に、ご無沙汰の知人友人との旧交を温めに大勢ご参加ください。
楽しい「モチマキ」イベントあります。

